

「徳島新未来創生総合計画」（令和7年度版）の改善見直し案にかかるパブリックコメント回答

令和7年2月5日（水）から2月19日（水）までの間、オープンとくしま・パブリックコメントを実施したところ、4名の方から30件のご意見をいただきました。ご意見の概要と県の考え方は、次のとおりです。

番号	ご意見・ご提言等	ご意見に対する考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 徳島県を「いのち輝く 世界の桃源郷 とくしま」並びに「いのち輝く 世界の理想郷 とくしま」にする。 ○ 徳島県を「地上の楽園 とくしま」並びに「世界のユートピア とくしま」にする。 	<p>頂きましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 徳島県が経済産業省国務大臣から「徳島バッテリー蓄電池経済技術開発構造改革特区」の認定を受けて、徳島バッテリー蓄電池バレー構想を推進する。 ※ 徳島県が次世代電池のリチウムイオン全固体二次電池、ナトリウムイオン二次電池、カリウムイオン二次電池、太陽二次電池(シリコン系・化合物系・有機系・ペロブスカイト系)の製造の集積地になる。 ※ 徳島県が「世界の次世代バッテリー蓄電池の工場」になる。 ※ 徳島県がソニー、日立製作所、旭化成、東レ、村田製作所、GSユアサ、三菱ケミカルの企業立地を行う。 	<p>本県では、昨年7月に「徳島への蓄電池関連産業の集積」を基本目標とする「徳島バッテリーバレー構想」を策定し、本構想に掲げる「生産性向上」、「新事業展開・誘致促進」等の戦略に基づく施策展開を行っております。本構想の推進を通じて、本県産業の新たな柱を確立し、雇用の創出と県民所得の向上につなげることができるよう、しっかりと取り組んで参ります。</p> <p>頂きましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 徳島県が百人以上の雇用力がある百社以上の企業立地を行う。 ※ 仕事と雇用を増やして「徳島新規若万人雇用拡大事業」の推進 ○ 徳島県が百人以上の雇用力がありかつ魅力度が高い地元企業を百社以上の企業育成を行う。 ○ 徳島県が中心となって「徳島市町村一品運動」を展開して公益社団法人徳島県産業国際化支援機構を通じて、徳島県産の各市町村の特産品を国内外への販路拡大や新規販路開拓を行う。 	<p>本県では、全国屈指の光ブロードバンド環境や本県独自の「オーダーメイド型立地優遇制度」を活かした企業誘致活動を実施しており、今後とも、立地優遇制度の充実や情報発信の強化を図りながら、企業立地を推進し、本県経済の活性化及び雇用の確保を図って参ります。</p> <p>また、各市町村の特産品を含む魅力的な県産品の国内外への販路開拓を行うため、本県と公益社団法人徳島県産業国際化支援機構が両輪となり、県産品のブランディングや食・観光・文化が一体となったプロモーションなどの展開を図っているところです。</p> <p>頂きましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 徳島県が「徳島全県デジタル6G・ICT光の道」を推進する。 ※ 「ICT保健医療の光の道」⇒遠隔地ICTオンライン診療、遠隔地ICT放射線オンライン診断、ICT電子カルテ、ICT電子処方箋 ※ 「ICT学校教育の光の道」⇒ICT電子黒板、ICT学校構内用有線LAN、ICT電子教科書、ICT電子ノート、デスクトップパソコン(教師用並びに児童生徒用) ※ 「ICTものづくりの光の道」⇒新技術の研究技術開発並びに新商品の研究技術開発 ※ 「ICTスマートタウン光の道」⇒持続可能な開発目標管理のまちづくり 	<p>頂きましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 徳島再起動！～元気宣言 徳島～躍動する徳島へ！⇒現在の前例踏襲を白紙撤回して、新たな徳島の未来予想図を描く。 ※ 「ワンチームとくしま・徳島家」を構築する。 ※ 「ワンチームとくしま・徳島家」の心は一つ。 ※ 「ワンチームとくしま・徳島家」は一つ屋根の下に仲良く暮らしている。 	<p>頂きましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>

番号	ご意見・ご提言等	ご意見に対する考え方
6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 徳島県が主体となつて「四国広域連合」を発足する。 ※ 四国は一つであり四国家である。⇒オール四国, ワンチーム四国 ○ 徳島県が中心となつて「太平洋新国土軸」(紀淡海峡ルートを含む。)の形成を図る。 ○ 徳島県がマリニピア沖洲を「徳島の臨海副都心」並びに「徳島の臨海新都心」にする。 	<p>四国各県との連携につきましては、毎年「四国知事会議」において4県の知事が各県に共通する課題や広域的課題について議論するとともに、国等への要望活動を行っています。</p> <p>また、四国の総合力の向上や効率的な対応が期待できる事業を「四国4県連携事業」として4県で連携して実施しています。</p> <p>さらに、「太平洋新国土軸」につきましては、本県も会員となっている「太平洋新国土軸構想推進協議会」において、多くの府県や経済団体が連携し、太平洋新国土軸の実現に向け、毎年国へ要望活動を実施しています。</p> <p>頂きましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> ○ 徳島県が徳島新未来総合計画においてAI人工知能及びIoTを導入して、KPIの計画・行動・実行を確実にする。 ※ 現在の徳島新未来創生総合計画は具体性に乏しい。 	<p>頂きましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 徳島県が「徳島新未来創生総合計画」の中に三菱商事の三綱領(所期奉公・処事光明・立業貿易)の文言を盛り込んで、徳島県の魅力度UP, 透明度UP, 国際化の進展を図る。 ○ 徳島県が「徳島新未来創生総合計画」の中に「徳島県民一人一人が主役となる県政」並びに「徳島県民一人一人が主人公となる県政」の文言を盛り込んで、美しいふるさと徳島を取り戻す。 	<p>頂きましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
9	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「徳島新未来創生総合計画」は、徳島県の発展並びに徳島県民一人一人の幸福の向上ができればならない。 ※ 徳島新未来創生総合計画は、枝葉末節に拘つて大所高所からの見地に立っての理路整然とした県政判断ができていない。 ※ 県政刷新ができていない。 ※ 徳島県第一主義並びに徳島県民生活第一主義(徳島県民一人一人の暮らしを最優先)でなければならない。 ※ 徳島県民一人一人の小さな声が届く「徳島新未来創生総合計画」でなければならない。 	<p>頂きましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
10	<ul style="list-style-type: none"> ○ 徳島県が三菱商事本社とが一体となつて「徳島県庁における総合商社化」を行う。 ※ 徳島県のマネジメント力, マーケティング力, 情報発信力, 情報収集力, 情報分析力の強化をする。 ※ 徳島県が三菱商事本社のICTサテライト・オフィス徳島事務所の開設をする。 ※ 徳島県が三菱商事四国支店の徳島市内への移転を行う。 ○ 徳島県と三菱商事本社とが一体となつて、徳島県産業国際化支援機構を「総合的な地域商社」にする。 ※ 徳島県産業国際化支援機構に三菱商事本社から完全移籍型出向で徳島県産業国際化支援機構の社員にする。 	<p>頂きましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>

番号	ご意見・ご提言等	ご意見に対する考え方
11	○ 徳島新未来創生総合計画は荒唐無稽な内容	頂きましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。
12	○ 徳島新未来創生総合計画は「見ざる 聞かざる 言わざる」だ。 ※ 徳島新未来創生総合計画は、徳島県民一人一人の顔を見ていない 徳島県民一人一人の声を聞いていない	頂きましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。
13	○ 「徳島新未来創生総合計画」は「ワンチーム徳島」による「徳島県民一人一人の県民力」並びに「徳島県民一人一人のマンパワー力」によって、下支えができるようにしなければならない。 ○ 「徳島新未来創生総合計画」には「熱き徳島愛」, 「温もりある徳島愛」, 「厚い人情の徳島愛」, 「強い絆の徳島愛」が入魂されなければならない。 ※ We are TOKUSHIMA We love TOKUSHIMA ※ 徳島県が徳島県民一人一人に「心の灯」を灯す。 ※ 「徳島新未来創生総合計画」は徳島県民一人一人の「心」が決めるものである。	頂きましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。
14	○ 徳島県が「徳島新未来創生総合計画」に「定住人口の推進」と「交流人口の拡大並びに関係人口の拡大」を明記する。 ※ 東京一極集中主義の打破 ※ 地域連携の推進 ※ 地域活性化の推進	本計画では、ミッション「魅力度UP」の「戦略8 観光立県の推進」において「交流人口の拡大」を明記するとともに、「戦略14 国内外から選ばれる魅力的な地域づくり」において「若者の定住やUターンの促進」及び「関係人口の創出・拡大」に向けた取組を明記し、市町村や関係団体と連携して積極的に施策を推進しています。 今後とも、観光をはじめ徳島に関心のある方々について、「交流人口」から地域と多様な形でかかわる「関係人口」へと関係性の深化を図るとともに、転出超過が顕著な若者を中心に「移住定住人口の拡大」につなげるべく、人材確保に向けた取組を全庁挙げて推進して参ります。
15	○ 「徳島新未来創生総合計画」は「地方創生戦国時代」の競争に勝ち抜き、そして、徳島新次元の未来に向けての投資及び徳島新時代の未来に向けての投資でなければならない。 ※ 海外資本の受け入れ体制, 高度人材の人材確保対策, 最新高度先端技術の導入(光量子工学など)など	頂きましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。
16	徳島市内で自然なお産を希望してもお産を取り扱う助産院がない。 妊娠出産育児をより良いものにする為には、妊娠期からの助産師の継続的なケアがとても重要です。 全国的に産後うつや乳幼児の虐待は深刻な問題として取り上げられますが、それらを阻止するには、育児がラクに出来ることが大切です。その為には、お産がラクで満足のものが必要であり、その為に妊娠期の保健指導が重要なのです。 また、出生数の減少も問題視されていますが、出産の満足度と出生率は比例していると言われています。 しかし、今徳島市では、病院か診療所しか分娩場所の選択肢が無く、女性が望む出産を実現出来ない現状は非常に深刻な問題です。 ですので、徳島市で助産院や自宅出産が出来るように、助産師だけでなく、行政として市も協力して欲しいです。	妊娠期の保健指導については、市町村において、医師や助産師など専門家による継続的な保健指導を行う妊婦健康診査のほか、妊産婦や乳幼児、保護者を含む家庭全体について、妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない相談支援をこども家庭センター等を核として実施されており、本県では、「妊産婦およびその家族が安心して子どもを産み育てることができる」を目標として、個々の医療機能、それを満たす医療機関、さらにそれら医療機関相互の連携により、周産期医療体制の充実・強化に努めているところです。 頂きましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。

番号	ご意見・ご提言等	ご意見に対する考え方
17	<p>○ 「徳島新未来創生総合計画」は「変わる！徳島」, 「チエンジ！徳島」でなければならない。</p> <p>※ 「徳島新未来創生総合計画」は変化しなければならない。前に向いて進歩しなければならない。未来に向かって進化しなければならない。</p> <p>※ 後藤田正純徳島県知事は「徳島新未来創生総合計画」は、殻を破って脱皮するものと発言している。</p>	<p>頂きましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
18	<p>○ 「徳島新未来創生総合計画」は、徳島の希望の未来を拓(ひら)くものでなければならない。</p>	<p>頂きましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
19	<p>○ 「徳島新未来創生総合計画」において、徳島県が「ICT立県 とくしま」, 「ICT王国 とくしま」になる。</p>	<p>頂きましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
20	<p>○ 「徳島新未来創生総合計画」は、地に足をつけて小さなことからコツコツと地道に一つずつ積み上げていかなければならない。</p> <p>※ 現状では、砂上の楼閣, 生半可な付け焼き刃, 耳障りの良い美辞麗句の甘い言葉を並べただけ</p>	<p>頂きましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
21	<p>○ 「徳島新未来創生総合計画」は「ローマは一日にして成らず」又は「千里の道も一歩から」の認識が必要である。</p> <p>※ 「三百六十五歩のマーチ」(水前寺清子)の歌のイメージで一歩一歩進んで行く。</p>	<p>頂きましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
22	<p>○ 「徳島新未来創生総合計画」における教育再生については、</p> <p>※ 慶心義塾徳島中等教育学校の開校</p> <p>※ すべての県立高等学校の普通科を文理科への学科改組</p> <p>※ 徳島県立鳴門高等学校, 徳島県立阿波高等学校, 徳島県立脇町高等学校の理数科の復活</p> <p>※ 徳島県立徳島北高等学校を徳島県立徳島国際高等学校に校名変更する⇒国際化への対応</p> <p>※ 徳島県立穴吹高等学校を徳島県立穴吹中等教育学校にする。</p>	<p>頂きましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
23	<p>○ 「徳島新未来創生総合計画」は事業仕分けが行われなければならない。踏み込んだ事業厳選が必要だ 事業成果が見えない。</p> <p>※ 藍場浜公園への新県民ホール建設の白紙撤回 急げば回れで、原点回帰で白紙にする。</p> <p>※ サステナブル(持続可能)⇒× SDGs(持続可能な開発目標管理)⇒○</p> <p>※ 韓国旅行の全面禁止⇒韓国は反日暴力破壊主義に凝り固まっている。 韓国と北朝鮮との朝鮮戦争は継続中</p>	<p>頂きましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
24	<p>○ 「徳島新未来創生総合計画」は「絵に描いた餅」だ。</p> <p>※ 具体的には、「とくしま★マチ★アソビ」×阿波踊りのコラボ事業で、「アニメの聖地 徳島」にする。⇒アニメ・ツーリズムの推進</p>	<p>令和6年度開催の「徳島おどりフェスタ」では、「東京ディズニーリゾート®スペシャルパレード」の参加などにより、多くの観光客の御来訪をいただきました。</p> <p>また、アニメ作品「姫様“拷問”の時間です」と連携したARスタンプラリーの実施などアニメ等を活用した本県のにぎわい創出を行ったところです。</p> <p>今後とも、本県ならではの観光資源を活用し、県内外からの観光客でにぎわう、観光立県の推進に取り組んで参ります。</p>

番号	ご意見・ご提言等	ご意見に対する考え方
25	<p>○ 「徳島新未来創生総合計画」は絵空事。夢想花。夢芝居。 ※ お江戸の「粋」並びに「通」が必要 ※ 「未来に引き継げる徳島」はない。「実際の現場」を見ていない。「新時代へには躍り出せない」。</p>	<p>頂きましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
26	<p>○ 「徳島新未来創生総合計画」は「徳島県民の徳島県民による徳島県民のための徳島新未来創生総合計画」でなければならない。 ※ 現状では、徳島県民一人一人の声を蔑ろにしている。徳島県民一人一人の声を無視している。</p>	<p>頂きましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
27	<p>○ 「徳島新未来創生総合計画」は真の知恵や叡知が不足している。 ※ 「徳島新未来創生総合計画」は徳島新時代や徳島新次元に向けての真理探究の礎を築かなければならない。</p>	<p>頂きましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
28	<p>戦略11の「攻めの農林水産業」では、様々な農業生産対策が掲げられ、農地の有効活用・効率利用が期待できる計画となっているが、農村地域においては、高齢化や人口減から農地の維持に苦勞している地域も多くあるのも事実であり、農地の有効活用・効率利用を進める上で、これまで地域で守ってきた優良農地の確保は大変重要な課題となっている。</p>	<p>安定した農業生産活動に欠かせない優良農地の確保について、課題の認識を記載するよう改善いたしました。</p>
29	<p>有機農産物は全国的にまだまだ量的に少なく、大量に流通することは難しいのが現状だと思えます。また、地場産物についても、消費を増やし生産量を拡大していくことが、農業の発展には大事ではないかと思えます。 さまざまな課題があると思えますが、マルシェや直売所での販売を少しずつ増やしたり、学校給食での食育の取組として取り入れるなどして、全ての世代の人に有機農産物への理解を深めていくことや、地場産物の消費拡大を促進していくことが重要だと思えます。</p>	<p>学校給食等での地場産物や有機農産物の活用の推進について記載するよう改善いたしました。</p>
30	<p>昨年、「米が品薄で価格が高騰している」というニュースが全国的に報じられた。昨夏には、実際に店頭から米が消え、現在も供給不足は完全に解消されず、国の備蓄米が放出される事態にまでなっている。現在の「米不足」が解消されない原因は、「流通の目詰まり」であり、需要に対する生産総量は適正であると考えられる。しかし、大元の原因のひとつには、令和5年の記録的な猛暑による、大量の「白未熟粒」の発生や、斑点米カメムシの吸汁被害による「1等米比率」の低下がある。一方、生産現場では、ウクライナ危機以降の燃油や農薬など、資材価格高騰により、生産を縮小した生産者もいらっしゃるという声も聞いており、生産力の低下が懸念される。この度の総合計画見直しにおいては、このような状況も課題のひとつとして取り上げるよう希望する。</p>	<p>本県農林水産業を取り巻く状況として、気候変動や食料安全保障に関するリスクの認識について記載するよう改善いたしました。</p>